

平成27年度 小田小学校「豊かな心の育成」推進プラン

中期学校経営方針「豊かな心」達成目標

- ・ たてわりふれあい活動、ペア活動の充実と異学年交流の日常化を図ります。
- ・ 中休み体力づくりサポーターや学援隊、地域の方々との交流を通して感謝の気持ちをもてるようにします。

児童(生徒)の実態(「豊かな心の育成」にかかわる課題)

本校の児童は、落ち着いて学習に取り組み、誰とでも協力して活動することができている。素直な面があり、自分自身がもっとよくなりたいたいという気持ちをもっている。しかし自分の思いを表現することについては苦手と感じる子どもも多く、コミュニケーション力は十分とはいえない。道徳的な価値については理解していても行動に表わせないことも多い。

「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- ・ 全教育活動を通して、道徳教育の充実を図る。
- ・ 異学年交流(たてわり活動)を通して、多様な価値観を互いに認め、人とつながりながら個々の力を十分に発展させていく「高め合う子ども」の育成を目指す。
- ・ 自他共に人を大切にする心情と行動力の育成をはかる。



指針1 「道徳の時間の充実」

- ・ 学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育と、各学級の道徳時間との関連を図り、豊かな体験を生かして指導を行う。
- ・ 保護者に向けて、全学級が年一回は授業公開をする。
- ・ 懇談会などで、道徳の授業について話をし、家庭との共通理解を図る。 【視点1】

指針2 「体験活動の充実」

- ・ 6年生がリーダーとなりたてわり活動を行うことで、高学年のリーダーとしての意識、グループ内でのお互いを思いやる気持ち、協力しようとする気持ちを育てる。
- ・ 学びを見通したうえでの活動のねらいを設定し、校外の豊かな自然や文化にふれる「集団宿泊体験」を充実させる。 【視点3】

指針3 「確かな人権感覚・意識の育成」

- ・ 必要な子どもに対して個別の教育支援計画や指導計画を作成し、適切な指導や支援を行う。
- ・ 一般学級の子どもは、個別支援学級の子どもと学習や行事での交流を通して、学び合いながら相互理解を深める。
- ・ 個別支援学級の子どもは、意図的・計画的に一般学級の子どもと一緒により大きな集団で学ぶ。 【視点8】